

進路活動とは、右往左往して、あらゆるドアを叩き続けることと見つけたり

校長 浅賀敏行

令和5年度が始業します。ウィズコロナは進展し、マスクの原則不要、集会の実施等により、こうして伊奈学生が一堂に会し、始業式をするのは実に4年ぶりです。

令和5年度が素晴らしい1年になる事を祈るばかりです。

今日は進路活動について話します。まずはいつものように引用から。

ある就活2年めの大学生が授業の後に、『好きなことを仕事にするように』って言うけど、好きなことをして暮らしている人ってどれだけいるんですか。そんなことを言われ続けたせいで、僕は結局2年かけてもうまくいっていないような気がしてきました。『好きなことを探して仕事に結びつけろ』なんて、すごく無責任な言いかただと思います。そんな言葉に踊らされていた自分が悪いんですけど」と話しに来た。そのような学生を見るにつけ、大学のキャリア教育で盛んにおこなわれている『好きなこと探し』を軸にしたキャリアデザイン教育の弊害を感じざるを得ない。

作家の塩野七生は、出身校の高校生たちとの対談の中で、若い頃に何をやりたかったかを尋ねられて、「大学生の時に自分がやりたいことなんてわかるわけがない。わからない方が健全だ」と答えている。さらには、自分はどの山に登ろうかなど全然考えない、何かの山に登るとまた別の山が見えてくる、今の日本の弱いところは先を読まないと前に進めないところではないかと述べている。榎本博明『教育現場は困っている』2020, 平凡社

伊奈学生諸君は、進路活動をとおして、自分の適性や興味関心を見極めようと努めています。そして進路希望を定め、つまり5年後、10年後のあるべき姿を定めてロックオンして、そこから逆算してロードマップを作成、つまり今年度すべきことを立案しています。それが進路活動であることは疑いようもありません。ですが進路決定の実際は、何の迷いもなくロックオンできるものではない。このことは進路活動の真ただ中にある諸君が、最もよくわかっています。あなただけではありません。迷うことなく決められる人はむしろ稀です。

鉄道（ノリテツ）にたとえるなら、進路活動は見切り発車の連続です。あるときは、だんだん目的地から遠ざかっていることに気づいて、あわてて何駅も引き返して乗り換える。あるいは乗り間違えなのに、車窓からの景色やその土地の風土に意外な魅力を発見し、さらに進んでみようと目的変更する。これは実は、人生の本質だと思

うのです。

ですから、進路活動にも右往左往はつきものですし、これこそ重要、最もいけないのは何もせずに立ち止まっていることなのです。

自分は何者なのか、何をしたいかがわからない。それは、それで当然、私も自分が教師として生涯勤めるなど、高校の頃は思っていませんでした。どこで人生を決定づける出会いがあるかわかりません。だから授業も部活動も行事でも、何に対しても誰に対しても、手を抜くことなく、心を閉ざさず、きちんと向き合うこと、が重要なのです。もう一つ、引用します。

人間が本当に愛するものを見つけるのは本当に大変なことで、それがすべて、要するに人生の中心だと思うね。一生かかっても、ついに見つからない人も多いと思うんだよ。だけど、ドアが閉まっても、いつかは絶対に自分の好きなものを見つけられると、そういうふうに導かれているんだと信じることだね。だいたい、どこもかしこも閉まっていると、絶望的になっちゃうんだよ。だけど、あっちこっち叩いているうちに、どこかのドアがポンと開くと思うんだね。その開いたドアが自分の一番求めている、愛するものへの道だと、とりあえず信じるんだよ。そこへ入る、またドアが全部閉まっている。必死になって叩くと、またひとつだけドアが開く。そういうところを一つずつ通過しているうちに、いつか、ものすごい光が自分の中に出てくるはずなんだよ。

リチャード・バック著、村上龍訳『イリュージョン』1981、集英社文庫

「暗いと不平を言うよりも進んで灯りをつけましょう」、「求めよ、されば与えられん」、「門を叩く者には開かれる」、「目を覚ましていなさい。主はいつ帰ってくるかわからないから」というのは、いずれも聖書の言葉ですが、信仰心のない私をも、困難な局面で何度も励まし、支えてくれました。

新年度の初日にあたって、諸君に訓示します。進路は諸君の人生を決定づけるもの。だからこそ、右往左往して、あらゆるドアを叩き続けるものであると看破しましょう。右往左往して、あらゆるドアを叩き続けるべき時に、これを避けて通ってしまうと、将来に暗い影を落とすことを肝に銘じましょう。

それは精神的に辛い作業です。だからこそ進路活動をとおして精神面でたくましく成長するのです。何度も何度も、自己に問いかけ、自己を叱り、自己を励まし、そして貫徹して、いつか諸君がものすごい光を放ってくれることを願ってやみません。